

2015年(H27年)

7月

No. 277

ひとはつうしん

(ホームページアドレス) <http://hitoha-fukushi.com>

(メールアドレス) honbu@hitoha-fukushi.com



社会福祉法人 ひとは福社会

〒739-1203

広島県安芸高田市向原町長田1857番地

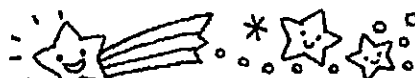
TEL (0826) 46-2960 FAX (0826) 46-7230

向原の田圃では稲がようやく根を張り、一段とたくましさを増して
 います。これからは あおあおとした田圃風景が楽しめます。
 さて、皆さんもニュース等で御存じだろうと思いますが、下関市に
 ある大藤園という施設で白昼堂々(?)と利用者に対する暴力が
 まかり通っている映像が流れました。私も最初に観た時は、唖然
 として言葉を失いました。「酷い!」の一言です。

しかし、「あんなひどいことは、ひとはではしていないよ」では済ませ
 る問題ではありません。確かにひとはでは運営理念に基づいた
 活動や支援になっているか、常に問いかけながら取り組んでいます。
 でも、つい軽率な取り組みがなされている ことを見逃してはなりません。
 ひとはでは、広島人権擁護センターほどより「まことさん(外部機関の相談
 員)」を派遣してもらったり、ひとは会(家族の会)にも「何でも相談係」を置い
 てもらったりと、物申せる雰囲気づくりに努めていますが、それでもきららの人た
 ちの意思を十分に尊重しているかと問われれば、胸を張って「大丈夫です!」
 とは言い難い状況もあります。

ひとはは、障がいのある仲間とともに、文化を発信する活動拠点とし
 ての役割を担っていると思っています。それでも仲間を弱者として位
 置づけ、上から目線であるいはパターンリズム(温情主義)の範疇に
 押し込んで「もの言えぬ人」にしていけないか不安が残ります。

一人ひとりの人権を尊重し、人間であることの尊厳を守るためには、何
 よりもいろんな人との出会いが必要で、どうか華あるごとにひとは
 にお出でください。そして、仲間の活躍ぶりに声援を送ってください。



(理事長 寺尾 文尚)

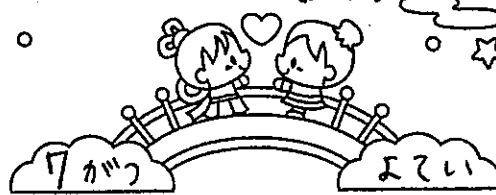


「あいうべ体操」をしています。
 月曜日の活動はダンスです。
 6月から お口の体操「あいうべ体操」を取り入れました。
 はじめスタッフが、せめてみせると「えー恥ずかしい」「できんエ」
 と言っていた子どもたちでしたが、何回か行くと大きな声で「あーいーう」と最後
 「べー」の時音を出すことができていました。
 ある日のこと、3年生の女の子が「高松さんも「あいうべ体操」が上手になっ
 たね!」とほめてくれました。子どもたちを、しっかり見ているつもりですが、子どもたち
 が大人のことをさらにしっかり見ているようです。気が抜けない毎日です!

※あいうべ体操...お口の体操ですが、免疫を高めて病気を治す効果があります。口呼吸から
 鼻呼吸にするのが目的です。これにより、虫歯や歯周病を予防し、インフルエンザ、
 いびき、蓄音器等が改善されます。

(ひとはま、こ 高松 悦子)

☆ ☆ ☆ ☆ ☆
 ~村田美穂さんからの贈り物~
 ☆ 11(土) アロマセラピー教室(14時) ☆
 ☆ シロイハコ来店(11時半~) ☆
 ☆ 22(土) トランプ教室(14時半) ☆
 ☆ 26(日) ひとは館マルシェ ☆
 ☆ 「ひとは館縁日」 ☆
 ☆ 8/1(土) Honey's ライブ(13時半) ☆
 ひとはの後援会員であり、パトマイムを通して
 全国の子どもに夢を贈り続けている村田美穂さん
 から、小包が届きました。開いてみると、手づくり
 ストラップのミニぼうし100本。同封されている手紙に
 「戦争放棄を願って」とありました。村田さんは、長崎
 在住です。子どもたちに夢を贈り続けるためには、
 なんとしても平和であってほしいという願いが
 込められています。
 「せんそうぼうし」はひとは館においてあり
 ます。是非ともあなたのマスクとして
 身をつけてください。 ~せんそうぼうし~



しとはから吹いてくる風

30年によせて

どこにでもあつた普通の人生を歩むはず
 と思つてた私が、障害のある子どもを持つて
 100%不安の中、ひとはに吸い寄せられて、
 気がつけば、花のお母ちゃん四人組の中に
 いました。

あれから30年。ひとは子どもたちもたくま
 しく成長しました。もちろん、お母ちゃん達も
 うば桜四人組にと太い絆でつながっています。
 だが、たくましく成長したのは、お口ばか
 りでした。
 (住川 憲子)

このコーナーでは、ひとは30周年を記念
 して、ひとはに縁のある方々に毎月
 登場していただきます。読者の方の
 ラもメッセージをいただければ幸いです。
 もしよければお寄せください(200字程度)。

ニコニコ顔で近づいて来たMさんが「退院しました。よろしく
 お願いします。」と頭を下げた。「よかたね。おめでとう」と言う
 とすぐに「私、前よりは体重が4kg減った。薬の量が少なくなった。
 少しなくなるように頑張る。4倍のここのごはんは麻婆豆腐だった。
 おいしかったよ」とたて続けにお話してくれる様は以前とちよと
 変わらない。「病院の食事はどうでしたか?」と質問すると
 「病院は味が薄かった。ここのがいい、食べ慣れたから」と返事
 がかえった。
 「おいしい献立を考えて!」とお願いされ改めて元気が出てきま
 した。みなさんがありのままをお話してくださり心が安らぎます。
 又、はつと気づかされることもある日々です。(食堂部 角田 令子)

ひとはの母

私は、ひとは館産直店勤務で、火曜日~金曜日までひとは館の
 仲間と働いています。今日は、そんな日々の中での事をご紹介します。
 いつも笑顔で挨拶、接客をされている生産者の方。野菜を持
 てこられた時は、必ずひとは館に立ち寄りあいすを買って行かれ現。
 その時は笑顔で仲間と会話を楽しまれています。たまたま行事で
 仲間がいない時は、今日はどうされましたかと心配をしてくだ
 さっています。
 仲間の笑顔は、お客様、生産者、産直市のスタッフの人にとつて
 心安らぐ時なのです。(ひとは館 吉田産直市店 船本 紀代美)

ささき亭フリースペース始めます
 午後2時からささき亭を、地域の皆様の集まり、習い事、サークル活動など
 気軽に集う場所として利用してください。
 先日開催された活動を紹介します。ワクワクするようなことがしたい人、アト好きた人
 ラッピング上手な人が集まり、「ゆるく長く細く」をモットーに、自由に好きなことを
 しようという会、気づけて「ササキガ」。たまたまカフェに来てた知り合いと意気投合し、
 さらに「材料調達なら任せて」とお友達も参加。その様子を見ていた店員もかわり、
 次々と話が展開される。レターセット、アクセサリ、さららの作品をアトに!などやりたいことは
 たくさん。まずは人間ホールでの作品展を目標にそれぞれのアイデアを膨らませる。商品化も
 したい。取材が来たらどうしよう...。度は大きく、活動力はゆるーく。(後日「ササキガ」のけしこ
 ハンコがでまかりました。)
 ささき亭は人と人がつながる場所にしていく所になりました。あなただけの新
 しい活用方法を見つけてみませんか? 詳細はお気軽にささき亭(0826-46-2218)
 までお問い合わせください。

